

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

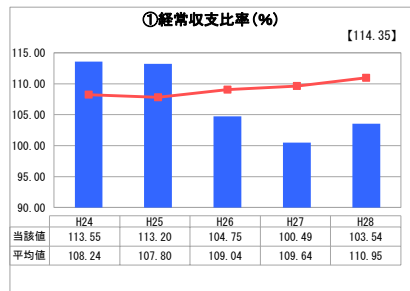
佐賀県 武雄市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	84.25	99.05	4,568	

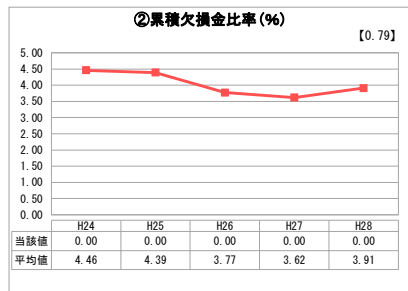
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
49,674	195.40	254.22
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
48,962	195.44	250.52

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

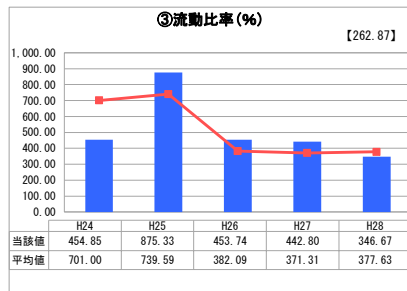
## 1. 経営の健全性・効率性



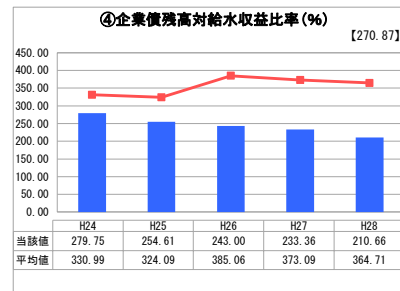
「経常損益」



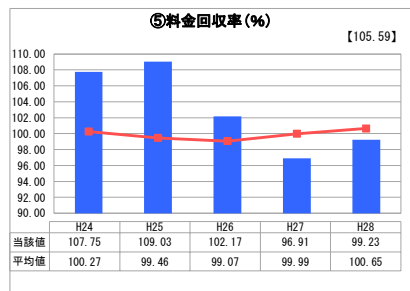
「累積欠損」



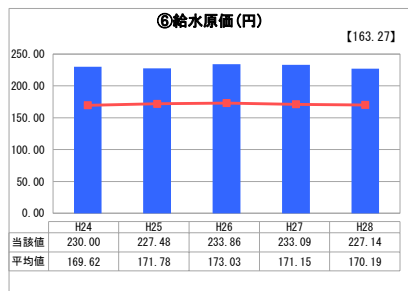
「支払能力」



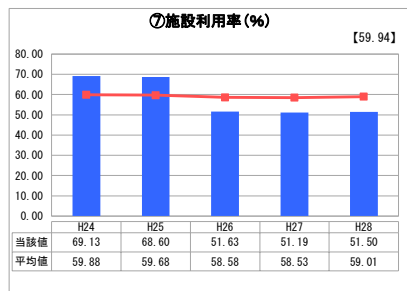
「債務残高」



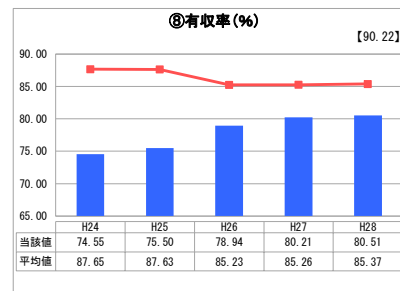
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

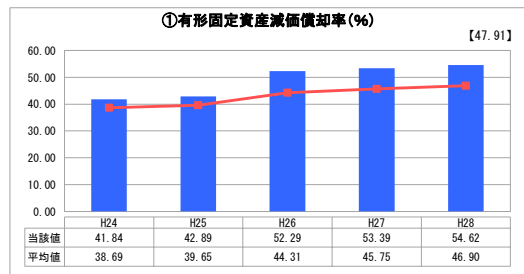


「施設の効率性」

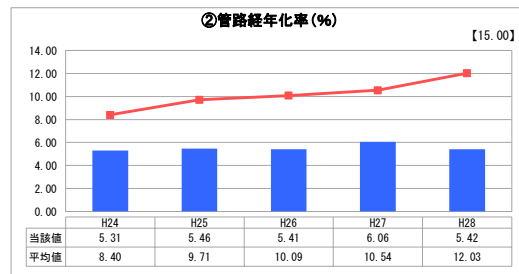


「供給した配水量の効率性」

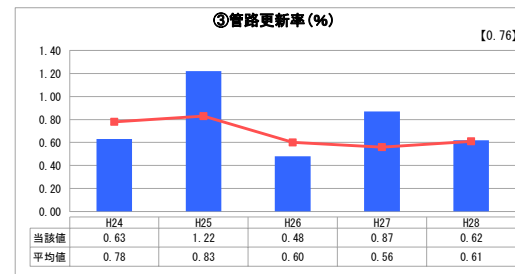
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率が100%以上で推移し、また流動比率も高水準で推移していることから、経営の健全性は確保できていると判断できる。  
一方、給水原価は類似団体と比較し高水準で推移し、また平成26年10月の料金減額改定の影響により供給単価が低減しており、料金回収率は平成27年度に引き続き100%を下回っている。  
未収金対策も含めた料金収入確保や、有利な資材調達・計画的な建設投資による経費節減に努め、経営安定を図る。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率について平均値と同程度で推移しており、類似団体と同水準で施設の老朽化が進んでいることが判断できる。  
老朽更新・漏水調査を継続して実施しているが、引き続き計画的な管路更新や有収率の向上に努める。

### 全体総括

経営は概ね安定しているが、給水人口の減少、施設の老朽化等経営環境が厳しくなることが見込まれる中、サービス維持のため計画的・効率的な経営が求められる。  
市民負担の軽減も考慮しながら、経営努力を行うとともに施設の統廃合や広域事業統合を進める。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。